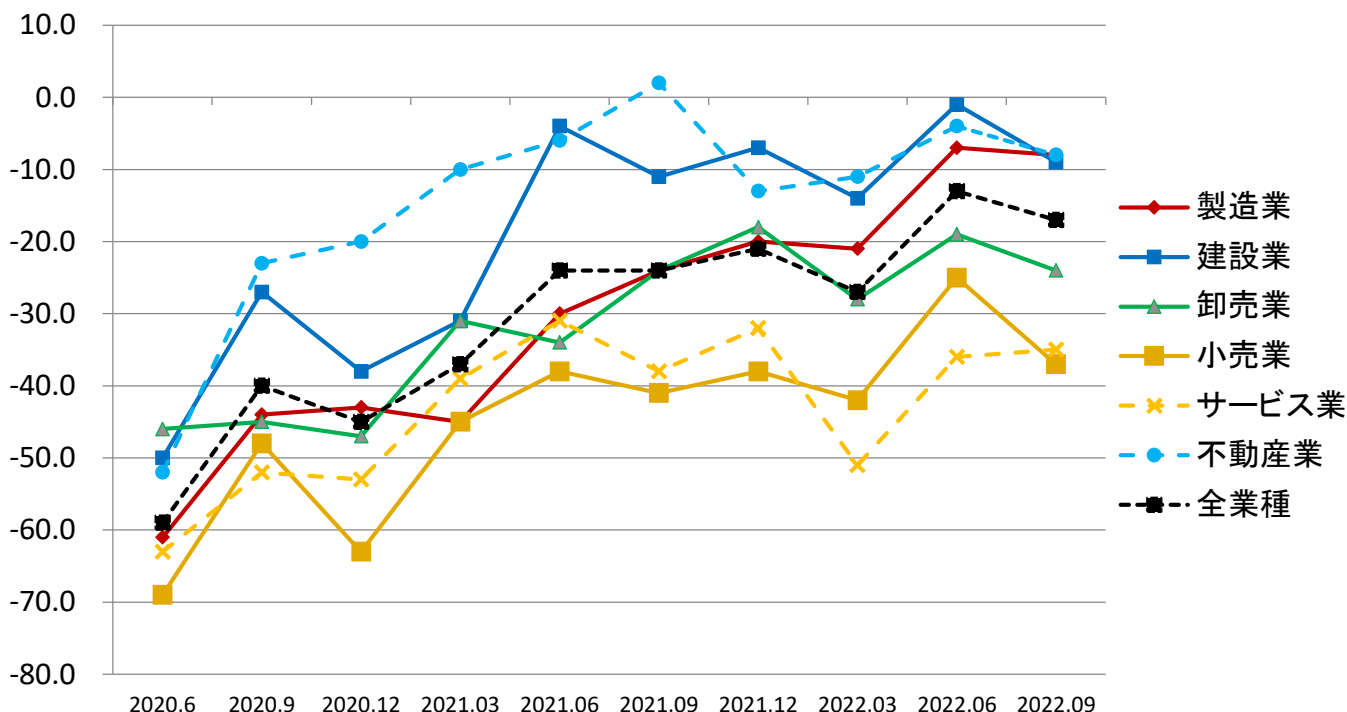


福生市商工会 経営だより

1. 多摩地域の小規模企業業種別業況判断DIの推移



※製造業・建設業は19人以下を、卸売業・小売業・サービス業は4人以下を小規模企業としています。
出典：多摩信用金庫 多摩けいざい No.102

2. 業況判断DIの分析

2022年の9月期は、全業種業況DIが前期より7ポイント下降の-8ポイントとなりました。新型コロナウイルスの影響は少しずつ緩和しており、水際対策についても外国人の受入人数の上限撤廃など、経済活動が正常化しつつあります。一方で、資源高や円安を背景とした原材料等仕入価格の上昇が続いており、景況感を下押ししています。

業種別にみると、製造業:-6ポイント、卸売業:0ポイント、小売業:-11ポイント、サービス業:-7ポイント、建設業:-7ポイント、不動産業:-15ポイントと卸売業を除く全ての業種において業況DIが悪化しました。特に小売業と不動産業の下降幅がそれぞれ10ポイント以上と大きくなりました。

3. 中小企業診断士の一言

年末に大掃除を検討する方も多いのではないのでしょうか。職場管理の基本として3S活動があります。3S活動とは、整理:必要なものと不要ものを区別して、不要ものを捨てる。整頓:必要なものを、必要な時に効率よく取り出せるようにする。清掃:職場のゴミをなくし、汚れのないキレイな状態にするの3つの活動です。職場の大掃除では、「清掃」で単にキレイにするだけでなく、「整理」、「整頓」に取り組み、効率アップに結び付けてはいかがでしょうか。3S活動で安全でムダのない職場をつくり新年を迎えましょう。

4. 主要業界のトレンド

【全体】

従業員の持つスキルや知識は人的資本とされています。コロナ禍などの大きな環境変化に伴い、会社の価値を高めるため、人的資本の価値を最大限に引き出す「人的資本経営」が注目されています。従業員を「人材」ではなく「人財」として捉え、人を大切にす経営を目指していきましょう。

【製造業】

ストレス、肩こり、睡眠不足など「休みを取るほどでもない体調不良」によって、仕事に身が入らず従業員のパフォーマンスが低い状態は作業効率を大きく低下させています。従業員の健康に配慮し、作業効率を向上させましょう。具体的には、従業員の運動不足解消のためラジオ体操、オフィスでできる簡単な体操の実施などに取り組みましょう。従業員が健康になることで、作業効率の向上や労災リスクの抑制につながり、活気ある職場になります。

【サービス業】

コロナ禍3年目となり、徐々に人の動きが活発化しています。サービス業では特に人手不足感が高まってきています。短時間で働ける制度を導入し、ランチタイムなど忙しい時間だけ新たにシニアを活用することや、子供の長期休みに休めるような環境を作ること働きやすい職場を作り労働力を確保しましょう。

【小売業】

従業員がどれくらい仕事に対して満足しているかを表す指標に「従業員満足度」があります。小売業は不規則な勤務時間などで従業員満足度が低くなりがちです。年間を通して成果を出した従業員を積極的に表彰することや、仕入れや売場づくりなど”やりがい”のある仕事を任せることで、従業員満足度を高めていきましょう。従業員満足度を高めることで、従業員のモチベーションや人間関係の向上が見込まれ、最終的には店舗の売上向上に貢献することになります。

【建設業】

紙での管理や電話の通信など、アナログ業務が多い建設業ではIT化が進んでいないかもしれません。ITスキルや知識習得の勉強を推奨し、IT化に対応できる人材を育てましょう。技術革新などの変化に対応するための新たな知識やスキルを学ぶ「リスキリング」が注目されています。リスキリング助成金などの支援策が充実してきています。人材育成は採用コストの削減や業務効率化など会社に大きなメリットを生むため、教育機関の研修へ参加などを検討していきましょう。

5. 小さな企業の新たな取組みのためのヒント

定期的・固定的に支払っているコストをチェックして、現状のコストが適正価格であるか見直しをしてみましょう。例えば、オフィス機器の保守料金が何年も変わっていない場合や、業務システムを導入してから数年経過しており、利用しない余分なオプション契約がある場合、過去の割引キャンペーンで電気料金を変えたことがある場合、同じ商品を複数の仕入れ先から仕入れている場合などは、価格の見直しでコスト削減につながる可能性があります。過去の商慣習を無意識に継続しているケースを見つけ出しましょう。円安などの影響でコスト削減は重要な取り組みです。コスト削減を商工会の専門家に相談してはいかがでしょうか。